

## 近畿本部 情報工学部会 12月度例会の案内

◇日時：2016年12月17日(土) 13時～17時

◇場所：四ツ橋セントラルビル6階 604号 会議室

大阪市西区新町1丁目3番12号

(地下鉄四ツ橋下車1A出口から四ツ橋筋を北へ約1分、東側ビル6階)

◇会費：日本技術士会会員(1,000円)、未入会者(2,000円)、学生(無料)

<プログラム>

①運営会(幹事会)13:00～13:40

②講演 14:00～15:15 佐藤 力 技術士 (情報工学)

『<技術解説>航空管制を支えている情報処理技術と今後の展開について』

(概要) 爆買いという言葉に代表されるように、日本を訪れるインバウンド旅客数が年々増加しています。さらに2020年には東京オリンピックが控えており、旅客数はさらに増えることが見込まれています。ところが、我が国は物理的な制約もあって空港容量が小さく、その容量不足が問題となりつつあります。まずは一般的な航空管制について技術解説し、航空管制と情報処理技術のかかわりについて解説いたします。最後に、前述した問題の解決に情報処理技術がどのように貢献するのかをお話します。

③講演 15:25～16:40 本多 利行 技術士 (情報工学)

『メモリマネジメントの Similarity』

(概要) 情報を記憶するメモリには様々なものがある。プロセッサ内に作りこまれてGHzオーダーで動作する論理回路から、半導体デバイスであるDRAMやNAND、そしてメディアタイプのディスクやテープ、そしてそれらを認識しないネットワーク上のクラウドまで。メモリヒエラルキーを構成している。それぞれのメモリを構成するデバイスは異なるために、それぞれを制御するコントローラも異なる。情報処理の午前問題でもその概要はよく出題される。しかしながら"メモリマネジメント"という視点では、実はどのレイヤーにおいても似たような事を行っている。"メモリマネジメント"の技術を、各レイヤーでの相似性(Similarity)を取り上げながら説明する。

④16:40～ 部会連絡事項

⑤17:00～ 忘年会



なお、1月度は14日(土)に開催予定です